

## 日本語と韓国語の決まり文句

2004年4月～2005年3月受入交換留学生

韓国カトリック大学言語文化学部 2年

李 ルダ(イ・ルダ)

### 1. はじめに

日本語と韓国語は文法、語順、語彙などがほぼ同じである。そのため、各言語に翻訳する時、そのまま直訳しても大きく間違った文章にはならないのである。だが、決まり文句は直訳したら、もう決まり文句には使えない文章になってしまう場合が多い。日本語と韓国語は決まり文句において差があるということである。

決まり文句の意味の正義は「いつも決まって使われる文句。ある場合に習慣的に使われる、型にはまった言葉。無難であり、実用上便利であるが、他方、新鮮味に欠け、没个性的であることが注意される。」である。決まり文句は人々が日常生活の中で無意識に使っている言語中、もっとも多く使われているということである。今レポートで、決まり文句は属している言語の特徴をよりよく反映していると言う考えに基づいて、日本語と韓国語の決まり文句を比較、分析し、言語の特徴を考察したい。

### 2. 決まり文句の研究

決まり文句にはいろいろな種類がある。今回は挨拶語、ある特定の状況についての決まり文句、日本でのみ使われる決まり文句、韓国でのみ使われる決まり文句で分け、その分類にしたがって進めていきたいと思う。

#### 2. 1 挨拶後の決まり文句

- ① おはようございます / おはよう
- ② こんにちは
- ③こんばんは

④ おやすみなさい / おやすみ

(1) 안녕하세요? [アンニョンハセヨ] / 안녕? [アンニョン]

(2) 안녕히 주무세요 [アンニョンヒジュムセヨ] / 잘 자 [チャルザ]

①、②、③は会う時の決まり挨拶語である。朝に会った時は①、昼には②、夜には③を使うようになっている。①は昔の言葉つきで、意味は<お早めにいらっしゃいますね>である。敬語を使わない場合は後ろが省略され、ただ、<お早めに>になる。①を韓国語に直訳したら、決まり挨拶語にはならない。韓国語では日本語のように省略した文はまともな文章にもならず、使えなくなるのである。②と③は漢字で書くと、②は<今日は [キョウハ]>、③は<今日の夜は>になってしまい、後ろの部分が省略されていると考えられる。やはりこれらも韓国語の挨拶語としては使えないのである。それに対して、韓国の会う時の挨拶である(1)は、時間を考えずに使える挨拶語である。(1)を日本語に直訳したら、<安寧しますか>になる。これは名詞と形容動詞に関する文法の差で、日本語の文法に合わせたら<安寧ですか>になる。敬語でない場合は日本と同じく、後ろが省略されて、ただの<安寧>になる。これは日本で普通に使う決まり挨拶語にはなれないのである。④は寝る時の挨拶語である。これを韓国語に直訳すると、寝る時の挨拶というよりは労働が終わり、休みになってする挨拶のようなニュアンスがある。つまり、別の状況に使う決まり文句になってしまうのである。(2)も寝る時の挨拶語であるが、これを日本語に直訳したら<安寧にお眠りになりなさい>になる。敬語ではない場合は<よく寝て>になる。これは、意味は通じるが決まり文句にはなれないのである。

⑤ さようなら

⑥ またね

(3) 또 보자 [トボザ]

(4) A : 안녕히 가세요 [アンニョンヒガセヨ]

B : 안녕히 계세요 [アンニョンヒゲセヨ]

⑤、⑥は日本で使われる別れる時の挨拶語である。⑤は元々「さようならば別れん」という文章だと思われる。つまり、⑤は昔の言葉つきが残っていて、また省略されている場合である。意味は<それでは>と似ている。これもやはり、韓国語の決まり文句にはなれない。⑥は友達同士で使う挨拶語である。⑥も省略されている文で、「ね」の前に省略されている文章が入る。原型は「また会いましょうね」だと考えられる。韓国にも⑥と似ている決まり挨拶語がある。それは(3)で、その直訳は<また見ましょうね>である。韓国は「見る」という単語を、「会う」の代わりに使う場合が結構ある。韓国は「会う」と「見る」を<会う>という意味で受けることができ、⑥が省略されていない場合は韓国でも決まり文句で使えるのである。だが、日本で「会う」と「見る」は別の言葉であり、(3)

は日本の決まり挨拶語にはなれないのである。(4)の会話も別れるときの挨拶である。この会話はBがAの家に招待されて、今、帰ろうとしている時のものである。Aの意味は<安寧に行ってください>で、Bは<安寧にいらっしゃってください>である。順番は関係なく、先に帰る人はBの挨拶を、残る人はAの挨拶をする。それにもし、道ですれ違い会って、別れるときは、両方Aの挨拶をするようになっていく。このような挨拶は日本にはないのである。(4)を日本語に翻訳するとき、両方ともただ、「さようなら」になってしまうのである。

⑦ A : 行ってきます

B : いっていらっしゃい

⑧ A : ただいま

B : お帰りなさい

(5) A : 다녀오겠습니다 [タニョオゲッスムニダ]

B : 잘 다녀 오세요 [チャルダニョオセヨ]

(6) A : 다녀왔습니다 [タニョワッスムニダ]

B : 다녀오셨어요? [ダニョオショッソヨ]

⑦、⑧、(5)、(6)は家を出る時と家に帰った時の挨拶語で、⑦のA、Bは(5)のA、Bと、⑧のA、Bは(6)のA、Bと同じ場合に使うのである。韓国語でも日本語でも両方の意味は通じるし、型も似ているが、直訳の意味は違う。韓国には「行く」の代わりに「通う」の単語を使っている。それで、(5)のAは<通ってきます>になり、Bは<よく通っていらっしゃい>になるのである。日本で(5)は挨拶語になれない。その反面、韓国では⑦は十分使える。だが、子供っぽい感じで、すぐ近くの、ある場所に行って数分以内に帰って来れるようなニュアンスがある。⑧のAには省略が使われ、韓国語の決まり文句にはなれない。それに省略されたと思われる文は<ただいま戻りました>で、これは韓国語では「いつ戻りましたか?」という質問に当たる答えでしかなれない。Bもやはり少し感じが違う。韓国でBは挨拶というよりは命令文になってしまうのである。(6)のAも「通う」が使われ、<通って来ました>という意味になる。Bの意味は<通って来ましたか>になり、両方とも日本語の決まり文句にはならないのである。

⑨ 明けましておめでとうございます

(7) 새해 복 많이 받으세요 [セヘボクマニバドセヨ]

⑨と(7)は日本と韓国のお正月の決まり文句である。⑨の意味は<(新しい日(年)が) 明けて、おめでとうございます>で、(7)の意味は<新しい年(日)、福たくさんもらってください>である。両方とも新年の雰囲気が入っているのであり、意味も通じる。だが、日本人がお正月に(7)の言い方を聞いたなら不自然だと思うだろう。また韓国人もお正月に⑨の言い方を聞いたなら何がそんなにめでたいの

か、なぜ祝いの挨拶をもらうのかわからなくなる。よって、(7)は日本でのみ、⑨は韓国でのみしか決まり文句として使えない。日本語と韓国語には「おめでとう」を使える場合に対する認識がすこし違うということである。

⑩ この度はご愁傷さまでした

(8) 고인의 명복을 빕니다 [ゴインニミョンボグルビムニダ]

⑩と(8)はお葬式の決まり文句である。特に⑩ではあまり使わない漢字語まで現れている。この単語は韓国でもあまり使わない単語で、これを韓国人に言うと、高学力でない人は、単語の意味が解らないのである。意味が解っても、ただの状況説明になり、⑩のままだったら韓国では慰労にはならないのである。(8)を日本語に直訳したら<故人の冥福を祈ります>になる。これは日本にも<冥福をお祈りいたします>という形でよく使う葬式の決まり文句である。ただ、何を一番愛用するかの差である。

## 2. 2 状況についての決まり文句

⑪ うそ！

⑫ 本当？

⑬ ありえない！

(9) 말도안돼！ [マルドアンデ]

(10) 정말？ [ジョンマル]

(11) 세상에！ [セサンエ]

⑪、⑫、⑬、(9)、(10)、(11)は信じられないことを聞いた時の決まり文句である。⑪は本当に相手が嘘をついているという意味ではない。ただ、決まり文句だから、そう言っているのである。それは⑫と⑬も同じである。⑫は<私が今聞いているのが事実なのか>の意味で、⑬は<そういう可能性は低い>という意味である。韓国では驚いた時、「嘘」という単語は使わないが、似ているような意味の(9)を使っている。意味は<言葉にもならない>である。日本と同じく、本当にそう思っているわけではない。ただ、そう言って、会話の潤滑油になっているのである。(10)は⑫に当たるが、意味は「本当」ではない。「本当」という漢字語は韓国にはないのである。(10)の意味は「正しい言葉？」で韓国語では「本当」の役割を果たしている。(11)は韓国にだけあると思われる決まり文句で、意味は<世界に>である。韓国語では珍しく、後ろが省略されている決まり文句である。原型は、「この世界にそのようなことが起きるはずがない」だと考えられる。日本人が(11)を言われたら「世界に」の続きを期待するだろう。

## 2. 3 日本だけの決まり文句

### ⑭ すみません

⑭は二つの意味がある。<ごめんなさい>という意味と、<please>の意味である。<ごめんなさい>という意味の時は韓国も決まり文句があるが、<please>の意味も含めている場合、韓国にはそれに当たる決まり文句がない。⑭が<ごめんなさい>という意味も持っているということは、声をかける時の<please>は<声をかけてごめんなさいが>を意味しているのかも知れない。そうすれば、これは周りに迷惑をかけない日本人の性格が反映しているのだと考える。

### ⑮ どうぞ

### ⑯ どうも

⑮と⑯は謙譲の表現で、よく使われている決まり文句だが、省略されている。⑮は「どうぞお座りください」、「どうぞめしあがってください」などが省略された文で、何かを進める時にはいつも使える便利な言葉である。だが、韓国には⑮にあたる単語だけでは使うことが出来ない。⑯は「どうもありがとうございます」が省略されていて、感謝を表現する時は⑯を使うことができる。だが、韓国には⑮と⑯のように副詞だけなら文章にならないので、決まり文句にはならないのである。

## 2. 4 韓国だけの決まり文句

### (12) ~죽는다 [~ジュンヌンダ]

(12)の意味は<死ぬ>である。韓国人は何かがひどすぎると感じた時、(12)をよく使う。日本語に意識したら「死ぬほどだ」になる。例えば、「いらだって死ぬ」、「好きで死ぬ」、「おなかいっぱい死ぬ」、「お金がなくて死ぬ」、「幸せで死ぬ」などである。日本は難しいことや悪いことによく使うが、韓国は悪いことだけではなく、いいことにもよく使う決まり文句である。これ以外にも韓国は死に関する言葉が多い。日本人より表現が激しいのである。

### (13) 장난이 아니다 [ジャンナニアニダ]

(13)の意味は<いたずらではない>である。これはたいてい悪口とともに使われ、何かの状況が思ったとおりでない時やひどくて信じられない場合、何かに感嘆した時に使う。例えば、大切な高い電子辞書が壊れた時、テストの結果が思ったより低い時、などである。日本にはこの場合に使う決まり文句が特にないのである。

### 3. 最後に

日本と韓国の決まり文句には差が多い。意味は通じるが、決まり文句にならない場合や、まともな文章にならなくて意味も通じないし、決まり文句にもならない場合も多い。また、日本と韓国は使う単語がほぼ同じだとされていることに對し、日本だけの漢字語や韓国だけ使う漢字語もあることが解った。だが、方言の場合を考えなかったため、誤差や間違った文があると思われる。

それに日本語と韓国語の特徴も現れた。日本語の決まり挨拶語には昔の言葉が残っている場合が多いし、省略された文章も多いのである。日本人は縮小が好きだといわれている。機械を縮小して、持ち歩けるようにする分野の産業は日本が世界で一番上手だと言われている。また、日本の庭は自然を縮小し、家の中に入れたものであり、盆栽は木を小さくしたものである。日本人は言語も小さく、短くしたのである。

韓国語には激しい表現が多いのである。実際、韓国人は気が短い性格の人が多い。韓国人は日本人よりは感情の変化が激しい人が多く、その表現が激しくなり、言語にも現れているのである。

これらを見て、日本語と韓国語の言語はその民族の民族性が反映されていると考える。

参考文献が少なく、また、方言を考えなかったので、誤差が多くなってしまった。今度は方言の決まり文句や決まり文句についていろんな参考文献を探してみたいと思う。

#### 【参考資料】

大橋信夫（平成 11） 『国語学大辞典』 東京堂出版

[http://210.104.190.155/classroom/k3\\_2/japan3-1.html](http://210.104.190.155/classroom/k3_2/japan3-1.html)